2023.10.19

弓立山（ゆみたてやま）ハイキング

ハイキング同好会　服部昌樹

2023 年 10 月 17 日火曜日、急に秋らしくなった晴天のもと、月例ハイキングを実施した。目的の弓立山は都幾川町にあり、標高 427mと特に目立たない低山だが、昔パラグライダーの滑空場があったため、山頂が広く眺望が良好でリピーターも多いらしい。山の由来は源経基（みなもと の つねもと）[1] が四方固めの矢を放ったのが山名の由来とされる。

注 1）源経基 － Wikipedia

9 時 50 分、今回は、常連の T 会員がぎっくり腰で参加できず 5 名が 2 台の車に分乗して三波渓谷（さんばけいこく）駐車場に集合した。入間・狭山市街が丁度通勤時間に当たり予定より 20 分ほど遅れる。軽い準備体操を済まし 10 時いざ出発。

駐車場から 200mも歩けばすぐ登山口に至る。そこからひたすらに登る。登山道は特に急な場所はなく路面もしまった赤土で少し滑りやすいが比較的歩きやすい。ただ登りが連続するとシニアにはつらいものがある。40 分ほどで男鹿岩にいたる。尾根に浸食に強い石英優勢の結晶片岩が 4-5m ぐらい飛び出し大きな岩塊を形成している。上に登ればいい眺望が得られそうだが、そこは思慮分別のあるシニアたち、眺望は思い描くだけにして素通りして山頂に至る。予定より少し早く 11:00 に山頂に着く。山頂はかなり広い範囲に亘って立ち木が伐採されており、眺望がすばらしい。先客がいた。なんと自転車(マウンテンバイク)を脇に置いて、日傘をさしベンチに座り食事をしている！ ここまで自転車で来れるんだ！ まあ、パラグライダーの滑空場があったことを考えれば当然のことだった。我々も日陰を探して食事をする。

ゆっくり食事をして 12：00、下山を開始。大変、これまで一枚も写真を撮っていない。それで 1 枚目の写真がこれ↓。

そして、30 分も歩けば弓立山南麓の道路に出る。しばらく歩くと「いこいの里」に着く。ここでトイレを借り、農産物を買う。男性は銀杏を女性はネギを買ったようだ。山の中なので、大きな道路沿いの道の駅より安いらしい。この施設の入り口脇に珍しい、斑入りの「ダイダイ」が実をつけている。実までも斑が入っている。

集落では庭先のキンモクセイが花をつけている。いい香りという人あり、トイレのにおいという人あり。

13:35 駐車場に戻る。今回は比較的楽なハイキングになった。でもこの程度が「年相応」なのかもしれない。

途中、見かけたフクラスズメ(蛾)の幼虫↓。触ったり、くっついている葉・枝に振動を加えると体を激しくゆすった。（フクラスズメ - Wikipedia）

次回は 11 月 7 日(火)(雨天の場合は 11 月 14 日)、行き先は八高線明覚駅（みょうかくえき）から越生駅まで「ウオーキング」で今回の経路の一部を通る。11ｋｍ、4-5 時間。山道はなく、たぶん全コース舗装されている。途中、都幾川で大イチョウ[2)]、越生・上谷（かみやつ）で埼玉県下 1 位の巨木の大クス[3)] に寄る。会員でなくとも、ウオーキングなら参加したいという人は服部まで。

注 2）関堀の大イチョウ：旅日記　「ときがわ」の巨木巡り（０１）
注 3）大クス：巨木 埼玉第 1 位：上谷の大クス｜越生町観光サイト　-梅を向いて歩こう-

参考：コース地図：①JR 明覚駅　②関堀の大イチョウ　③上谷の大クス　④JR 越生駅

以上